

## 提出いただいた意見とそれに対する県の考え方

1 意見の募集期間 令和2年12月14日（月）から令和3年1月13日（水）まで

2 意見の件数 3人 26件

### 3 意見の内容と県の考え方

#### 【基本的な方針等に係るもの】

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
1	厳しい県財政の中、コスト削減の考え方は賛同できる。一方で、子どもの教育環境は、安全性だけではなく、勉強に集中できたり、温かい人間関係を築けたりすることも大切なので、改修であったとしても、そうした教育環境の充実に尽力してほしい。	施設の長期使用を可能とするために改修する場合も、安全性だけではなく、快適性や学習活動への適応性等に配慮するものとし、教育環境の充実につながるよう努めます。
2	少子化が進行する中、現在ある県立学校も統廃合によって廃止になる可能性もあるため、廃止になる可能性の高い学校については、建て替えでなく、改修で対応することでコストの削減を図ってほしい。	改築（建て替え）・改修については、基本的には築年数を基準として検討しますが、次期県立高校将来構想を踏まえ、緊急性・必要性を勘案しながら、実施時期や内容を調整し、建物の維持更新費用の抑制を図ることとしています。
3	築年数の浅いものについては、目標使用年数を80年としてもよいと思うが、古くてみずぼらしいものについては、柔軟に建て替えを検討していただきたい。	改築については、基本的には築年数を基準とし、施設の利用実態や生徒数減少の動向等を踏まえて検討することとしています。
4	老朽化した建物は、改修ではなく改築した方がよいのではないかと。	従来は、老朽化対策は築後50年前後での改築を前提としてきましたが、今後は適切なタイミングで改修を行うことにより、コストを抑えながら、改築と同等の効果を得ることができるよう、計画的に整備を行います。
5	具体的な学校名があがっておらず、計画としての姿が明確でないのではないかと。	御意見を踏まえ、巻末に参考資料として計画期間内に築50・40・20年となる建物の一覧表を掲載しました。今後、これら個々の建物について施設の劣化状況や利用実態等を踏まえ改築・改修等を検討することとしています。
6	現在の光高校の校舎については、老朽化が進んでおり、建て替えてほしい。	いただいた御意見については、今後の施設整備に当たり参考とさせていただきます。
7	今後の維持・更新コスト試算について、どのような条件下で試算しているのか説明がほしい。	御意見を踏まえ、今後の維持・更新コスト試算の掲載ページに試算条件を追記しました。
8	専門用語が散見される。わかりづらいため解説がほしい。	御意見を踏まえ、巻末に用語解説を付記しました。

## 【パブリック・コメントの実施方法等に関するもの】

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
1	<p>年末年始も含めた上で、且つ意見募集期間が重なる意見募集計19案件実施(1/3時点)、資料数十ページにもなる案件も含むの中で全案件通常と同様の1ヶ月の期間設定は意見募集の体を成していないと感じる。期間の延長、又は期間内意見を反映させた資料を再提示の上での意見募集再実施を求める。前述対応が不可能ならば、その具体的理由を明示願う。</p>	<p>本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しております。</p> <p>意見募集の時期・期間については、各々の計画等作成過程の中で決定しており、期間延長等の予定はありません。</p>
2	<p>当件についてこの時期(年末年始を含む時期)に意見募集期間を設定した理由を明示願う。</p>	
3	<p>前述、当案件当時期パブリックコメント/意見募集実施理由への御返答が「県行政の進行/スケジュールの関係」の場合、「この時期の意見募集設定・案件集中」は必須と言う事となる。パブリック・コメント(県民意見募集)を適切に実施する為の恒久的対策の実施(意見募集期間に年末年始を含む場合・案件集中する場合は期間延長必須、等)を御願います。前述対応が不可能ならば、その具体的理由を明示願う。</p>	<p>本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しております。</p> <p>意見募集の時期・期間については、各々の計画等作成過程の中で決定しています。</p>
4	<p>「年末年始含む期間にパブリック・コメント/意見募集案件集中」に関しての前述(期間の年末年始回避、案件集中回避)の様な意見を、過去数年、複数回/複数案件、意見募集期間に年末年始を含んでいた各パブリック・コメント/県民意見募集に送付したと記憶している。パブリック・コメント/県民意見募集について県行政として「年末年始含む期間の回避」について何らかの対応(県行政としての検討、県内各部署への通知指示指導広報等)がなされたかどうか明示願う。</p>	
5	<p>同様に、「年末年始含む場合の期間延長」について何らかの対応(各部署への通知指示指導広報等)がなされたかどうか明示願う。</p>	
6	<p>同様に、「案件集中の回避」について何らかの対応(各部署への通知指示指導広報等)がなされたかどうか明示願う。</p>	

7	同様に、「募集時期集中時の期間延長」について何らかの対応（各部署への通知指示指導広報等）がなされたかどうか明示願う。	本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しております。
8	前述各対応が無かった場合は、「(過去のパブリックコメント/意見募集でも指摘があったにもかかわらず)なぜ県として対応をしなかったのか」関係部署に御確認の上で対応非実施の理由を明示願う。	意見募集の時期・期間については、各々の計画等作成過程の中で決定しています。
9	前述対応があった場合、なぜ今回の当パブリックコメント/県民意見募集で適切な対応(集中回避・集中時期間延長等)が取られていないのか明示願う。	
10	前述御返答内容に関わらず、期限通常通り1ヶ月での意見募集19案件集中では意見提示困難。改めて期限延長を求める。	
11	県行政では、1企業の申請に対して、内規に定める期間を超過して「資料不足」を理由に「資料再提出」を指示し、数年単位の長期検討を実施した例がある、と記憶している。「県民＝主権者」からの「資料不足又は期間不足による意見募集の期間延長/再実施」の要請を断るのであれば、その理由を明示願う。	
12	今回の意見募集の広報・記事扱いが実際の程度あったのか、後々「広報が十分なされたか」を判断する為にも、「県のホームページ＝県行政に関心又は用事の在る県民が参照する媒体」では無く、一般県民が広く目にする新聞にどう広告掲載した/記事掲載されたのか、『具体的(媒体、掲載日、大きさ)』に提示願う。	パブリック・コメントの実施については、記者配布を行い、県ホームページに掲載するとともに、新聞広告(12月26日の山口新聞、中国新聞「山口県からのお知らせ」)により広報に努めました。 掲載日が分かれた理由は、パブリック・コメントの開始日が異なるなどのためです。
13	今回の意見募集期間重複19件では、新聞広告「山口県からのお知らせ(山口県広報)」(新聞下4・5段広告)に掲載案件・未掲載案件(別途小広告掲載)に分かれたと認識している。県民意見募集の広報手段が分かれた理由を明示願う。	また、本計画の策定及び県民意見募集に関して、毎日新聞(12月24日)に記事が掲載されました。
14	各案件について、前述新聞広告で一方の広告を選択した理由を明示願う。	

15	<p>今回の案件を含め、県広報誌や「山口県からのお知らせ」に個々のパブリック・コメント／県民意見募集についてや、パブリック・コメント／県民意見募集全般に関する記事が殆どまたは一部しか掲載されていない理由を明示願う。</p>	
16	<p>前述各意見に対する御返答と、意見送付県民数・意見数より、今回の当該パブリック・コメント／県民意見募集についての広報が十分になされたかどうか、御判断御明示願う。</p>	
17	<p>パブリック・コメント／県民意見募集の期間が1か月なのに対して、県広報紙発行が2-3か月間隔と言うのは、県の広報手段として不適切な発行期間と感じる。県広報紙発行頻度の見直しを実施願う。</p>	<p>県広報誌は年4回の発行となっており、原稿を入稿する時期との兼ね合いから、主に速報性のある県ホームページや新聞広告等を活用した広報に努めています。</p> <p>限られた予算の中、いかに効果的に広報を行うか、今後とも検討してまいります。</p>

【その他】

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
1	<p>資料未確認だが、当件の内容は地域性専門性の高いものとなっていると考える。県民からの意見募集の他に、住民・関係者・専門家・各自治体からの直接の意見聞き取り等の実施を御願う。</p>	<p>本計画は、教育委員会会議を通じ、様々な分野から学校施設整備に関してご意見をいただくとともに、建築技術職員の専門的な知見も踏まえ策定を進めています。</p>